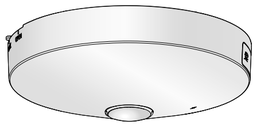
i-PRO

取扱説明書　設置編

工事説明付き

ネットワークカメラ 業務用

品番　WV-S4151UX 屋内監視用



取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。

●取扱説明書 設置編（本書）：
本機の安全上のご注意、設置上のお願い、設置方法について記載しています。
●取扱説明書 基本編（下記ウェブサイトのリンク先を参照してください）：
本機の使用上のお願い、詳細仕様について記載しています。
●取扱説明書 操作・設定編（下記ウェブサイトのリンク先を参照してください）：
本機の操作や設定方法について記載しています。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal

取扱説明書に記載されている「<管理番号：Cxxxx>」は、以下の弊社技術情報ウェブサイト内で該当する情報を検索する際に使用する番号です。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- SDXC／SDHC／SDメモリーカードをSDメモリーカードと表記しています。
- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

i-PRO株式会社

〒812-8531　福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© i-PRO Co., Ltd. 2022

PGQX2474YA
Cs0821-1042
Printed in China

注意：
- カメラに接続される直流電源は同じ建屋内になければなりません。
- 外部施設からの屋外引き込みケーブルが直接接続されているネットワークに、本機を接続しないでください。
- 本機に電源スイッチはありません。この製品に電力を供給する機器の主電源を遮断できるように、ブレーカーなどの遮断デバイスを必ず設置してください。
- 本機にはDC 12 Vのクラス2電源（UL 1310/CSA 223）か、供給電力が制限される有限電源（IEC/EN/UL/CSA 60950-1、IEC/EN/UL/CSA62368-1 Annex Q）または IEC/EN/UL/CSA62368-1 PS2 を使用してください。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

注記：
- 本機は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- 一般の人が容易に触れることができる場所への設置はしないでください。
- 本機は業務用機器です。
- 設置に必要なねじやその他の部材などの情報については本書の該当部分を参照してください。

▬▬▬：直流電源記号

安全上のご注意　（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🛇	してはいけない内容です。	❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

禁止

■ 異物を入れない
（水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。）
⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

■ 可燃性ガスの雰囲気中で使用しない
（爆発によるけがの原因となります。）

■ 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない
（取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。）

■ 落とさない、強い衝撃を与えない
（けがや火災の原因となります。）

■ SDメモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かない
（誤って飲み込むおそれがあります。）
⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ ぶら下がらない、足場代わりにしない
（けがや事故の原因となります。）

■ 電源ケーブルを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる　など）
（傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。）
⇒修理の際は販売店にご相談ください。

分解禁止

■ 分解しない、改造しない
（火災や感電の原因となります。）
⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。

接触禁止

■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源ケーブル、接続したケーブルに触れない（工事時を含む）
（感電の原因となります。）

■ 工事は販売店に依頼する
（工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。）
⇒必ず販売店に依頼してください。

■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる
（煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。）
⇒放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

■ 総質量に耐える場所に取り付ける
（落下や転倒によるけがや事故の原因となります。）
⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。

■ 定期的に点検する
（金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。）
⇒点検は、販売店に依頼してください。

■ 専用の取付金具を使用する
（落下によるけがや事故の原因となります。）
⇒設置の際は、専用取付金具を使用してください。

■ ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける
（落下によるけがや事故の原因となります。）

■ 配線は電源を切ってから行う
（感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。）

■ 人がぶつからない高さに取り付ける
（けがの原因となります。）

■ 落下防止対策を施す　※アタッチメント金具（付属品）を使用しないで取り付ける場合。
（落下によるけがの原因となります。）
⇒落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。

■ 振動のないところに設置する
（取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。）

■ 配線は正しく行う
（ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。）

■ 設置の説明にしたがって壁または、天井にしっかり取り付ける
（けがや事故の原因となります。）

⚠注意

禁止

■ 金属のエッジで手をこすらない
（強くこするとけがの原因となります。）

接触禁止

■ 本体底面の金属部には触れない
（金属部が高温になる場合があります。直接触れるとやけどの原因となります。）

■ お手入れのときは電源を切る
（けがの原因となります。）

保証とアフターサービス　（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　（　　）　ー　　お買い上げ日　　年　月　日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名　ネットワークカメラ
●品　番　WV-S4151UX
●故障の状況　できるだけ具体的に

i-PRO製品の「お問い合わせ」および「保証制度」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal

アフターサービスについて、おわかりにならないとき
お買い上げの販売店へお問い合わせください。

※「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本機の設定メニューの「サポート」ページの「本製品で使用しているOSSについては、こちらを参照ください。」をクリックして、表示される内容をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権について

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します※。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
※ 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer、Microsoft EdgeおよびActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは、アメリカ合衆国および／またはその他の国における Intel Corporationまたはその子会社の商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe ReaderはAdobeの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- iPad、iPhoneは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- AndroidおよびGoogle Chromeは Google LLC の商標です。
- Firefoxは、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

設置上のお願い

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、弊社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。
本機の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、本機、PCなど接続する機器の電源を切ってください。

■ 傷害防止のため、この機器は、設置の説明に従って天井または壁面にしっかりと取り付ける必要があります。

■ 本機の取付場所について
設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面や天井面などをよく選んで設置してください。
- 強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- 建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。
- 石こうボードや木部は強度が弱いので取り付けないでください。やむを得ず取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

■ 本機は屋内専用です
屋外での使用はできません。長時間直射日光の当たるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態で使用してください。

■ 以下のような場所での設置および使用はできません
- プールなど、薬剤を使用する場所
- ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所
- 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
- 使用温度範囲を超える場所
- 車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
- 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
- 湿気やほこりの多い場所
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所
- 硫黄を含むゴム製品（パッキンやゴム足など）が近くにある場所

■ 取付ねじの締め付けについて
インパクトドライバーは使用しないでください。ねじが破損したり締め付けすぎたりします。

■ 外光や赤外線照明の反射について
外光の入射角によって、画面にゴーストが現れることがあります。また赤外線照明を使用する場合、本機を壁面などの近くに設置すると、赤外線が反射して画面の一部または全体が白っぽく見えることがあります。
- 画像事例と対処の方法については弊社技術情報ウェブサイト<管理番号：C0109>を参照してください。

■ 雷に対する保護について
ケーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、本機のすぐ近くに避雷器を設置し、雷の影響を受けないように、本機と避雷器間のネットワークケーブル長をできるだけ短くなるように配線してください。

■ ノイズ障害が考えられる場合
テレビやラジオの送信アンテナからの強い電界、モーターやトランス、AC100 V以上の電力線（電灯線）からの強い電界・磁界の近くでは、映像や音声にノイズが入ったりすることがあります。1 m以上離して配線工事を行うか、金属管による配管工事を行ってください（金属管は必ずアースを接続してください）。

■ 本機を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

■ 本機に電源スイッチはありません
電源を切る場合は、DC12 V電源、あるいはPoE給電装置の電源をOFFにしてください。

■ 電池について
本機は内部に電池が組み込まれています。電池は、日光、火などにより過度の熱にさらされる環境に放置しないでください。

■ 本機の識別および定格表示について
本機の識別および電源、その他の表示は本機の底面銘板をお読みください。

■ VCCIについて
この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI-A

故障かな!?

修理を依頼される前に、「取扱説明書 基本編」、「取扱説明書 操作・設定編」の「故障かな!?」で症状を確かめてください。

仕様　詳細については「取扱説明書 基本編」をお読みください

電源※1	DC 12 V PoE（IEEE802.3af準拠）
消費電力※1	DC 12 V　：400 mA／約 4.8 W PoE DC 48 V：110 mA／約 5.3 W（クラス2機器）
使用環境	使用温度範囲：－10 ℃～+50 ℃ 使用湿度範囲：10 %～90 %（結露しないこと）
保存環境	保存温度範囲：－30 ℃～+60 ℃ 保存湿度範囲：10 %～95 %（結露しないこと）
モニター出力（調整用）※2	VBS：1.0 V [p-p]／75 Ω、コンポジット信号 φ3.5 mmミニジャック（オーディオ出力端子） NTSCもしくはPAL出力可能（ソフトウェアで変更）
外部I/O端子	ALARM IN 1 （アラーム入力1／自動時刻調整入力）　：1 端子 ALARM IN 2（アラーム入力2／アラーム出力）　：1 端子 ALARM IN 3（アラーム入力3／AUX 出力）　：1 端子
内蔵マイク	無指向性エレクトレットコンデンサマイク
オーディオ入力 マイク入力時	φ3.5 mmステレオミニジャック 使用可能マイク　：プラグインパワー方式 （感度：－48 dB±3 dB（0 dB=1 V／Pa、1 kHz）） 入力インピーダンス：約2 kΩ　不平衡 供給電圧　：2.5 V±0.5 V
ライン入力時	入力レベル　：約－10 dBV
オーディオ出力※2	φ3.5 mmステレオミニジャック（モノラル出力） 出力インピーダンス：約600 Ω　不平衡 出力レベル　：－20 dBV
寸法	最大径：φ150 mm／高さ：50.5 mm
質量	約390 g
仕上げ	本体：ABS樹脂　i-PRO ホワイト

※1 本機の電源に関する情報については、弊社技術情報ウェブサイト<管理番号：C0106>を参照してください。
※2 オーディオ出力はモニター出力へ切り換え可能です。切り換え方法については、「取扱説明書　操作・設定編」をお読みください。

別売り※1

ACアダプター　：WV-PS16UX
カメラ天井直付け金具　：WV-Q105AUX
カメラ取付台　：WV-Q180UX

※1 別売品の最新情報については、弊社技術情報ウェブサイト<管理番号：C0501>を参照してください。

付属品をご確認ください

取扱説明書　設置編（本書）……1枚
コードラベル※1 ……1枚

※1 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようにご注意ください。

以下の付属品は取付工事に使用します。
アタッチメント金具……1個
型紙A……1枚
オーディオケーブル……1本
電源用端子台※2 ……1個
外部I/O用端子台※2 ……1個
結束バンド……2本
（うち1本は予備）
ワイヤー取付金具……1個

WV-Q180UXを使用する場合は以下は使用しません。
落下防止ワイヤー……1本
ワッシャー ……1個
スプリングワッシャー……1個

※2 電源用端子台と外部I/O用端子台はカメラ本体に装着されています。

付属品以外に必要なもの

- 固定ねじ

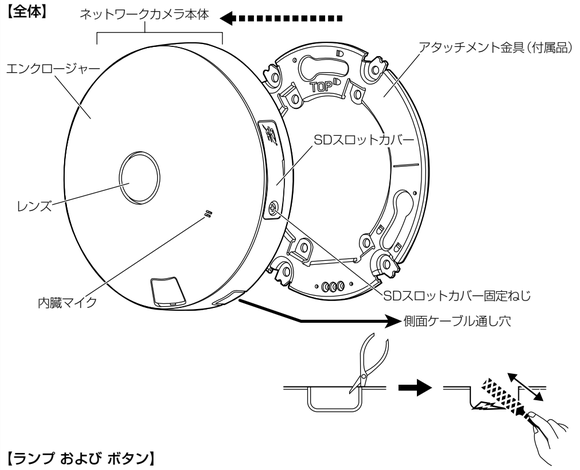
取付方法	推奨ねじ※1	最低引抜強度※2
SWボックス　2コ用スイッチボックスに取り付ける	M4×16 mm／4本※3	196 N（20 kgf）
直付け　天井または壁面に直接取り付ける		
オプション金具を使って取り付ける場合	各金具の取扱説明書を参照	

※1 ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじ、くぎは使用しないでください。
※2 ねじ1本あたりに要求される最低引抜強度です。最低引抜強度の考え方については弊社技術情報ウェブサイト<管理番号：C0120>を参照してください。
※3 ねじの長さは厚み20 mm以上の堅牢な天井または壁面に設置する場合の例です。

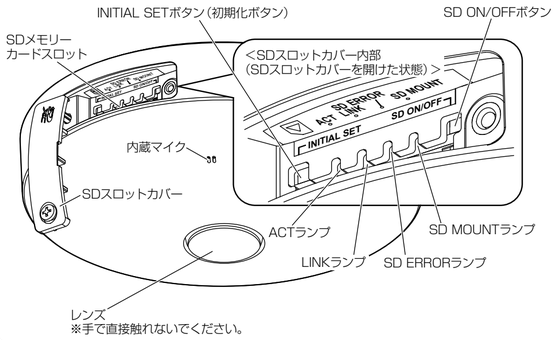
- RJ45プラグ、Ethernetケーブル（カテゴリー5e以上、ストレート、4対（8芯））
- 必要な場合は、音声入力ケーブル、音声出力ケーブル、アラームI/Oケーブル、電源ケーブル
- 工具

各部の名前

【全体】



【ランプ および ボタン】



■ランプ

メモ
- ランプの点灯/点滅はソフトウェアの設定で常時消灯にすることができます（初期状態は点灯および点滅）。設定については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

LINKランプ	
接続機器と通信可能になったとき	橙点灯
ACTランプ	
カメラがデータを送受信したとき	緑点滅（アクセス中）
SD MOUNTランプ	
SDメモリーカードを挿入して認識できたとき	消灯→ 緑点滅→消灯
SDメモリーカード挿入後、SD ON/OFFボタンを押し（1秒以下）、保存可能な状態になったとき	消灯→緑点灯
SDメモリーカードに保存できる状態のとき	緑点灯
SD ON/OFFボタンを長押し（約2秒間）してSDメモリーカードを取り出すとき	（録画中）緑点灯→緑点滅→消灯 （録画待機中）緑点灯→消灯
SDメモリーカードに異常が発生している場合や未使用に設定している場合など保存できない状態のとき	消灯
SD ERRORランプ	
カメラが起動中	赤点灯
正常にSDメモリーカードが認識されたとき	赤点灯→消灯
起動後SDスロット未使用もしくはSDメモリーカード異常が検出されたとき	赤点灯→赤点灯のまま

■ボタン

● INITIAL SETボタン（初期化ボタン）

本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。正常に起動しない場合は、もう一度やり直してください。

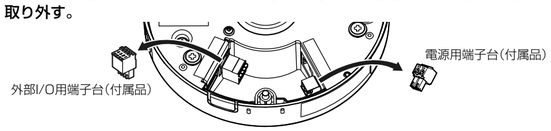
電源を切る ⇨ ボタンを押しながら電源を入れる※ ⇨（15秒）⇨ ボタンを必ず離す ⇨（約2分）⇨ 本機が起動し、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

※初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されなかったり、故障の原因になったりすることがあります。

● SD ON/OFFボタン
- ボタンを押す（1秒以下）と SD MOUNTランプが緑点灯し、SDメモリーカードへのデータ保存が可能になります。
- ボタンを長押し（約2秒間）すると SD MOUNTランプが消灯し、SDメモリーカードの取り出しが可能になります。

Step1 準備をする

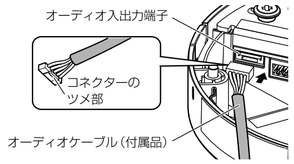
【1】カメラ本体に付いている電源用端子台（付属品）と外部I/O用端子台（付属品）を取り外す。



【2】必要な場合は、右下の「SDメモリーカードの取り付け・取り外し」の「■ SDメモリーカードを取り付ける」を参考にしてSDメモリーカードをあらかじめ取り付ける。

【3】必要な場合は、オーディオ入出力端子にオーディオケーブル（付属品）を接続する。

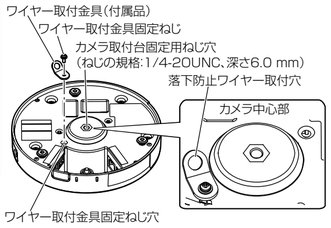
メモ
- オーディオケーブル（付属品）を取り外すときは、コネクターのツメ部を押さえてから引き抜いてください。



【4】必要な場合は、本機をWV-Q180UX（カメラ取付台・別売り）を使って天井に固定する。

① 本機の底面に付いているワイヤー取付金具固定ねじを外し、そのねじを使用してワイヤー取付金具（付属品）をカメラに取り付けます。

重要
- ワイヤー取付金具（付属品）は、右イラストの拡大図が示す向きになるように取り付けてください。
- 取り付けは、必ずワイヤー取付金具固定ねじを使用してください。長さの違うねじを使用すると、落下や故障の原因となります。
（推奨締付トルク：0.39 N・m {4 kgf・cm}）



② 落下防止ワイヤー（WV-Q180UX 付属品）を落下防止ワイヤー取付穴に取り付けます。

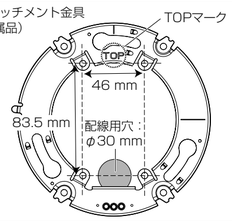
● 落下防止ワイヤー（WV-Q180UX 付属品）の取付手順は、WV-Q180UXの取扱説明書を参照ください。

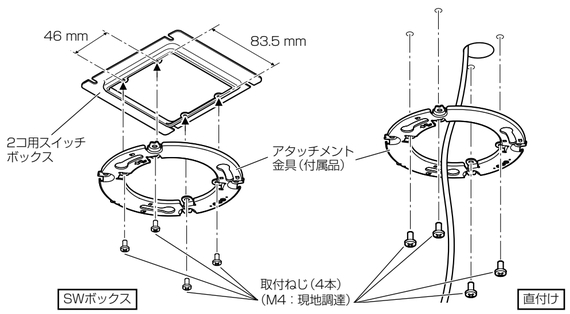
Step2 設置面を加工する（取付タイプに合わせて加工する）

共通 **最低引抜強度：196 N {20 kgf} /1本あたり**

SWボックス **2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具（付属品）を使って取り付ける。**

直付け **型紙Aを使って設置面に固定用の穴を開け、アタッチメント金具を使って天井や壁面に直接取り付ける。**

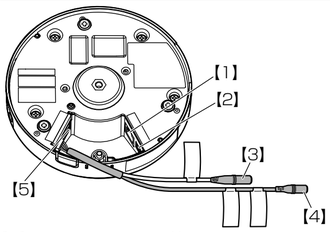


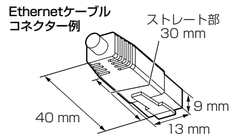


メモ
- アタッチメント金具（付属品）は「TOP」マークが、設置面と反対側（カメラ取付側）を向くように取り付けてください。
- アタッチメント金具（付属品）のTOP方向を撮影方向（画面の上方向）に合わせ、固定用穴及び配線用穴（必要な場合）を開けてください。
ダブルパノラマでご使用の場合は、型紙のTOP2方向を撮影方向（画面の上方向）に合わせてください。⇒技術情報ウェブサイト<管理番号：C0126>
設置完了後、カメラ本体をPAN方向に±5°で調整できます。

Step3 接続する

重要
- 本機に電力を供給できるデバイスは、PoEハブ／PoE給電装置またはDC12 V外部電源です。
- ケーブル類を接続する前にシステムの電源を切断しておいてください。





【1】RJ45ネットワーク端子と、Ethernetケーブルを接続する。

【2】ACアダプターまたは外部電源を接続する場合は、電源用端子台（付属品）を使用してカメラに接続する。

① ACアダプター（WV-PS16UX（別売り）または市販品）の出力ケーブルの外皮を3 mm～7 mmむき、より線を露出させるよう加工して芯線をよくよじる（WV-PS16UXを使用する場合は、ケーブル先端半田付け部分を除去する）。
外部電源を接続する場合は、AWG 16～AWG 24単線、またはより線を使用してください。
② 電源用端子台のねじをゆるめ、ACアダプターの出力ケーブルを電源用端子台へ挿入する。
③ 電源用端子台のねじを締める（推奨締付トルク：0.34 N・m{3.5 kgf・cm}）。
④ 電源用端子台をカメラの電源接続端子（DC12 V）に取り付ける。

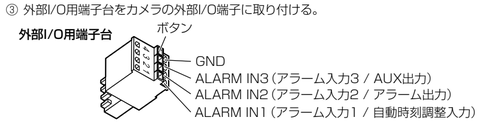
【3】必要な場合は、オーディオ入力端子とマイクまたは外部音声ラインを接続する。

【4】必要な場合は、オーディオ出力端子とアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する。

メモ
- オーディオ出力はモニター出力へ切り換え可能です。切り換え方法については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

【5】必要な場合は、外部I/O用端子台（付属品）を使用してカメラに接続する。

① ケーブルの外皮を8 mm～9 mmむき、ショートなどがないように、芯線をよくよじる。
線材仕様：AWG 20～AWG 26 単線もしくはより線
② ボールペンの先などで接続したい外部I/O用端子台のボタンを押し、ケーブルを穴の奥まで確実に差し込んでボタンを離す。
③ 外部I/O用端子台をカメラの外部I/O端子に取り付ける。



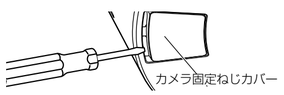
メモ
- 1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線を分岐させてから、接続してください。
- 外皮を切断した芯線が外部I/O用端子から露出せず、確実に接続されていることを確認してください。
- お買い上げ時は、外部I/O端子は「Off」に設定されています。外部I/O端子の設定については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

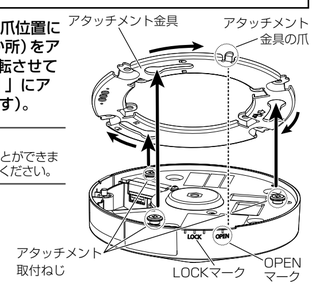
● 必要に応じて、結束バンド（付属品）で各ケーブルをまとめてください。

Step4 固定する

【1】OPENマークをアタッチメント金具の爪位置に合わせ、アタッチメント取付ねじ（3か所）をアタッチメント金具に差し込み約20°回転させて仮固定する（LOCKマークの中央の「｜」にアタッチメント金具の爪位置を合わせます）。

メモ
- 本機は設置完了した後に映像の向きを微調整することができます。調整方法詳細は「**Step5 調整する**」を参照してください。

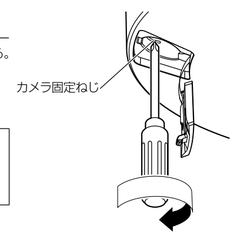




【2】カメラを固定する。

① カメラ固定ねじカバーの隙間に小さなマイナスドライバーなどの先を差し込み、カメラ固定ねじカバーを開ける。（左下イラスト参照）
② カメラ固定ねじを締め、カメラをしっかり固定する。
③ カメラ固定ねじカバーを閉める。

重要
- カメラ固定ねじは確実に締めてください。
落下事故の原因になります。
推奨締付トルク：0.78 N・m{8 kgf・cm}



【3】レンズ表面の保護フィルムを取り外す。

【4】カメラの電源を入れる。

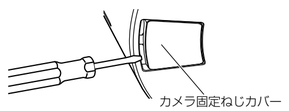
Step5 調整する

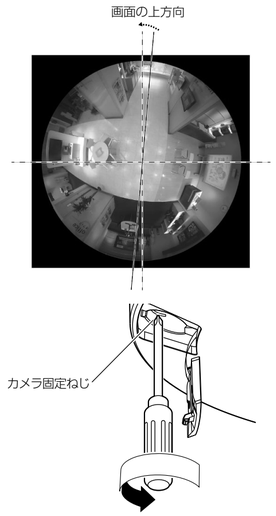
PCの画面上で撮影映像を確認して、画面の上方向（カメラの向き）を微調整したい場合は以下の手順で実施してください。
カメラの固定は、LOCKマークのセンターの「｜」を0°とすると、0°（センター）、+5°（右方向）、−5°（左方向）の3箇所で固定することができます。

【1】弊社技術情報ウェブサイトの「IP簡単設定ソフトウェア」 <管理番号：C0123> または 「i-PRO設定ツール（iCT）」<管理番号：C0133>をダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。

【2】カメラ固定ねじカバーの隙間に小さなマイナスドライバーなどの先を差し込み、カメラ固定ねじカバーを開け、カメラ固定ねじを緩める。

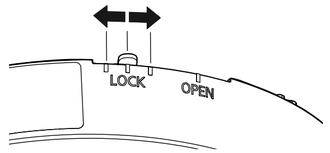
重要
- カメラ固定ねじを緩めると、カメラが仮固定状態になります。





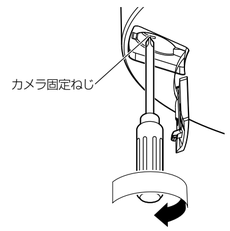
【3】PCの画面上で撮影映像を確認しながらカメラを時計方向もしくは反時計方向にLOCK位置を変更して、映像の向きを微調整する。

重要
- カメラを反時計方向に回し過ぎるとカメラがアタッチメント金具から外れますので、回し過ぎないようにご注意ください。



【4】カメラ固定ねじを締め、カメラをしっかり固定し、カメラ固定ねじカバーを閉める。

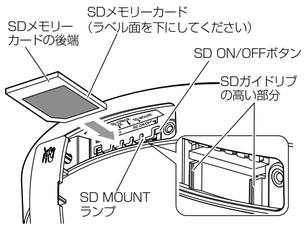
重要
- カメラ固定ねじは確実に締めてください。落下事故の原因になります。
推奨締付トルク：
0.78 N・m {8 kgf・cm}



SDメモリーカードの取り付け・取り外し

■ SDメモリーカードを取り付ける

① SDスロットカバー固定ねじを緩め、SDスロットカバーを開く。
② SDメモリーカードの後端がSDガイドリブの高い部分まで入るように押し込み、カチッと音がすることを確認する。
③ SDメモリーカードから指を離して、SDメモリーカードの後端がSDガイドリブの高い部分より飛び出していないことを確認する。
④ SD ON/OFFボタンを押し、SD MOUNTランプが点灯していることを確認する。（SD ON/OFFボタンを押さなかった場合、約5分後に自動的にSD MOUNTランプが点灯します。）
⑤ SDスロットカバーをもとの位置に取り付ける。



■ SDメモリーカードを取り外す

取り外す場合は、取り付けと逆の手順で取り外してください。
SD ON/OFFボタンを長押し（約2秒）し、SD MOUNTランプが点滅から消灯に変わったことを確認してからSDメモリーカードを取り出してください。

重要
- 本機の電源を切る前に、必ずSD MOUNTランプが消灯していることを確認してください。

メモ
- i-PRO機器専用 SDメモリーカードの使用を推奨します。
- SDメモリーカードを使用する場合は、本機でSDメモリーカードをフォーマットしてから使用してください。設定、フォーマットのしかたは、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。